

神奈川県立総合教育センター 令和6年度 かながわティーチャースタディ

■ 令和6年8月20日(火) 9:00～受付開始

9:30 - 9:40	講堂	開会式
9:50 - 11:30	講堂	<p><記念講演> 「教職の魅力とは？—社会的文脈から見つめ直す—」 東京学芸大学 教授 金子 真理子 氏</p>

実践報告・研究発表

会場	分科会 A (211 研修室)	分科会 B (212 研修室)	分科会 C (307 研修室)	分科会 D (308 研修室)
発表1 13:15 - 14:30	<p>「ICT 利活用授業・プログラミング教育—これからの時代に求められる情報活用能力の育成—」</p> <p>県立相模原城山高等学校 教諭 小林 直志 教諭 浅井 雄大</p>	<p>「小・中のつながりを意識して深める理科の授業づくり」</p> <p>横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校 教諭 奥平 直子</p>	<p>「知識の広がりと思いの深まりを目指した中学校家庭科消費生活の授業—知識構成型ジグソー法による対話的な学びを通して—」</p> <p>横須賀市立長井中学校 教諭 野村 悠衣</p>	<p>「共に学び共に育つ体育授業の実現に向けた調査研究—県立高等学校2校の実践を通して—」</p> <p>県立総合教育センター 主幹(兼)指導主事 中嶋 洋介</p>
発表2 15:00 - 16:15	<p>「総合的な探究の時間に係る取組—地域探究を主題としたゼミ形式での総合的な探究の時間—」</p> <p>県立津久井高等学校 教諭 市丸 嵩也</p>	<p>「高等学校における授業改善を目的とした初任者教師の育成—主体的・対話的で深い学びの視点に基づく取り組み—」</p> <p>県立深沢高等学校 教諭 三宅 浩之</p>	<p>「聴解力を育成する「現代の国語」の授業—「聞くこと」における意識や資質・能力の項目を視覚化したチェックシートの活用を通して—」</p> <p>県立鎌倉高等学校 教諭 坂本 真紅</p>	<p>「不登校を考える—スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、フリースクール等の皆さんから学ぶこと—」</p> <p>県立総合教育センター 調整監(不登校対策担当) 宮村 進一</p>

目 次

開会式 9:30～9:40.....	2
記念講演 9:50～11:30.....	2
実践報告・研究発表の概要.....	3
【発表1】13:15～14:30.....	3
【発表2】15:00～16:15.....	4
紹介コーナーについて.....	5
参加に当たって.....	6
【オンライン参加方法】.....	6
【昼食・休憩場所について】.....	6
【問合せ先】.....	6

開会式 9:30～9:40

○所長挨拶



記念講演 9:50～11:30

「教職の魅力とは？—社会的文脈から見つめ直す—」

東京学芸大学

教授 金子 真理子 氏

金子真理子氏（東京学芸大学先端教育人材育成推進機構教授）は、2000年より東京学芸大学に着任し、現在は同大の教職大学院でも教鞭を執られています。教師・カリキュラム・教員養成について研究し、その構造的な把握をもとに、教職の社会的意味を発信しています。専門は教育社会学で、近著に、『未来のカリキュラム』をどう創るか』（編著、2024年、創風社）、『教育改革と教職のゆくえ—教師研究のアクチュアリティ』（共著、2022年、『教育社会学研究』第111集）、『現場で使える教育社会学—教職のための「教育格差」入門』（共著、2021年、ミネルヴァ書房）等があります。

また、2022年に本県で開催した「かながわ教育フェスティバル」において「教職の魅力とは？—学校という社会空間から捉え返す—」をテーマに、教職の魅力や教職が社会からどのように見られているかを御講演されました。

昨今、教員の多忙化をはじめ、教員をめぐる状況は大きく変化しています。また、教員に対しての社会からのイメージも決して前向きなものとは言えません。金子先生の御講演は、教職の捉え方や魅力を改めて考え、見つめなおすきっかけになると思います。

実践報告・研究発表の概要

【発表1】13:15～14:30

【A-1】

ICT 利活用授業・プログラミング教育—これからの時代に求められる情報活用能力の育成—

県立相模原城山高等学校 教諭 小林 直志
教諭 浅井 雄大

相模原城山高等学校は令和 5 年度から城山高等学校と相模原総合高等学校が再編・統合し、新校として開校しました。県教育委員会から「ICT 利活用授業研究推進校」、「プログラミング教育研究推進校」の指定を受けて研究を進めるとともに、令和 6 年度は文部科学省から「DX ハイスクール」に指定されています。授業を中心とした教育活動を通じて、これからの時代に求められる情報活用能力の育成を目指していきます。

【B-1】

小・中のつながりを意識して深める理科の授業づくり

横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校 教諭 奥平 直子

子どもたちが科学的に探究し、根拠を基に考え、表現する力を身に付けることができるように、小中で連携して理科の授業づくり研究を行ってきました。お互いのよさを学び合って、日々、よりよい理科の学習を考えています。

【C-1】

知識の広がりと思いの深まりを目指した中学校家庭科消費生活の授業—知識構成型ジグソー法による対話的な学びを通して—

横須賀市立長井中学校 教諭 野村 悠衣

家庭科における思考を促すために、「対話的な学び」の視点である「他者との会話を通して考えを明確にしたり、他者と意見を共有して互いの考えを深めたりすること」に着目しました。本研究では、中学校家庭科消費生活の授業において、知識を広げ、思考を深めるために、知識構成型ジグソー法による対話的な学びを行うことが有効であるか検証しました。その結果、生徒の記述内容等から知識の広がりと思いの深まりが確認でき、有効であることが明らかになりました。

【D-1】

共に学び共に育つ体育授業の実現に向けた調査研究—県立高等学校2校の実践を通して—

県立総合教育センター 主幹(兼)指導主事 中嶋 洋介

本研究では、県内の県立高校を実践研究校として、一人ひとりの違いを大切にしようとする共生の視点を生かした、「共に学び共に育つ体育授業」を実現するための調査研究を行っています。アダプテッド・スポーツを取り入れた授業を展開し、生徒同士が互いを認め合いながら共に学び、共に育つ授業について、協議を含めて考えていきます。



【発表2】15:00～16:15

【A-2】

総合的な探究の時間に係る取組—地域探究を主題としたゼミ形式での総合的な探究の時間—

県立津久井高等学校 教諭 市丸 嵩也

本校グランドデザイン、「地域と協働し、地域社会に貢献できる生徒の育成」の実践と、指定校事業から、テーマを地域探究と決め、ゼミ形式の総合に取組みました。地域の課題を見つけ解決し、発表することで次のステップへ活かし、課題解決能力の育成を図りました。地域の多業種の企業や官公庁からご協力をいただき、生徒の探究活動を充実させました。更に授業計画に PDCA サイクルやルーブリック評価を組み込み、多角的な教育を展開しています。

【B-2】

高等学校における授業改善を目的とした初任者教師の育成—主体的・対話的で深い学びの視点に基づく取組み—

県立深沢高等学校 教諭 三宅 浩之

教育業界では、若手の育成が重要な課題となっています。本分科会では、その現状や課題を見つめ直し、改善のための具体的な手法を共有する機会を提供します。特に、若手の育成手段として有効な ALACT モデルの説明を行います。このモデルを活用することで、教師は自らの実践を継続的に改善し、教育の質の向上を目指します。

【C-2】

聴解力を育成する「現代の国語」の授業—「聞くこと」における意識や資質・能力の項目を視覚化したチェックシートの活用を通して—

県立鎌倉高等学校 教諭 坂本 真紅

今回の研究では、〔思考力、判断力、表現力等〕における「話すこと・聞くこと」の領域において、聴解力を育成するための手段として、「チェックシート」を活用しています。チェックシートには聞くことにおける意識や資質・能力における項目があり、それらを基に授業を組み立てて指導します。研究の仮説を立て、仮説検証の視点より検証授業を実践し、研究報告にまとめています。

【D-2】

不登校を考える—スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、フリースクール等の皆さんから学ぶこと—

県立総合教育センター 調整監(不登校対策担当) 宮村 進一

本県の公立学校における不登校の現状と課題を確認したうえで、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、フリースクール等の取組を共有します。

そして、これらの皆さんから教員が学ぶべき視点、意識、手法等について、ともに考えていきます。



紹介コーナーについて

【神奈川県立総合教育センターの取組紹介コーナー】

総合教育センターの取組みが見えるコーナーをご用意していますので、ぜひお立ち寄りください。

○研究成果物等刊行物の紹介

- ・神奈川県立総合教育センターで作成した、令和5・6年度の研究成果物等刊行物を展示しています。
- ・展示している刊行物以外にも、当センターウェブサイトにて多くの研究成果等刊行物を公開しています。

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/edu-ctr/kenkyu/seikabutsu.html>

○60周年記念展示（1階ロビー）

- ・今から60年前の昭和39（1964）年10月、ここ善行の地に現在の総合教育センターの前身である「神奈川県立教育センター」が創設されました。その後、昭和57（1982）年に亀井野に「第2教育センター」が置かれ、平成14（2002）年、両庁舎が統合、現在の「神奈川県立総合教育センター」となり、平成26（2014）年に50周年を迎えました。
- ・そこで今回、主に創立50年から現在までの10年間にスポットを当て、研究、研修、相談の変遷、旧庁舎からの移転など、この間の総合教育センターの歩みを紹介いたします。

○学校支援室（5階）

- ・授業改善等に役立つ様々な情報（研究紀要や年間指導計画、要覧、学習指導案、教育映像資料等）の収集・提供を行っています。
- ・現行の教科書、特別支援学校用教科書（一般図書・通称☆本）なども閲覧できます。



○教育図書室（5階）

- ・教育に関する図書・雑誌、教科書や県内の学校刊行物、全国の教育関係機関の資料を所蔵しています。
- ・教職員をはじめ県民の皆様も利用者カードを作れば資料が借りられます。お気軽にカウンターまでおたずねください。



○資料展示室（5階・多目的室）

- ・総合教育センターが所蔵するおよそ23万点にのぼる教育資料や教科書を、さまざまなテーマで展示し、紹介しています。
- ・5階エレベーターホールでは、昔の教科書の挿絵を紹介する映像展示も行っています。



※このページの画像は「令和6年度高校生のインターシップ」に参加した県立横浜修悠館高等学校の生徒が撮影しました



参加に当たって

【オンライン参加方法】

Zoomにて開催いたします。それぞれ10分前からログインが可能です。

Zoomログイン後のお問合せ等は、チャット機能をご利用ください。

参加に係るURL等は、お申し込み時に登録いただいたメールアドレス宛に送付しております。

研修用サイトより申し込まれた方は、研修用サイト内のマイページにて御確認ください。

- ・名前表示 … 「氏名(所属名)」としてください。例:善行太郎(藤沢市)、神奈川花子(藤沢市立かもめ小)
※県民の方におかれましては所属の表示は不要です。
- ・マイク … 発言時以外は、音声ミュートでご参加ください。
- ・ビデオ … 発言時以外は、ビデオをオフでご参加ください。

【昼食・休憩場所について】

○昼食場所

- ・各分科会場 (210 研修室・211 研修室・307 研修室・308 研修室)

- ・6階ラウンジ

※総合教育センター内には飲料の自動販売機のみ設置しております。施設周辺に飲食店やコンビニエンスストアがあります。

※ごみの持ち帰りにご協力をお願いします。



【問合せ先】

神奈川県立総合教育センター企画調整課(0466-81-1759[直通])



御参加いただきありがとうございます

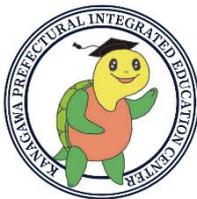
◎かながわティーチャーズデイ全体を通じた
御意見、御感想をお聞かせください。



https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerDetail_initDisplay?tempSeq=79525

回答期限 8月23日(金)

※研修用サイトより申し込まれた方は、
研修用サイト内の振り返り・アンケートを行ってください。



神奈川県立総合教育センター

〒251-0871 藤沢市善行 7-1-1

Tel(0466)81-0188〔代表〕

Fax(0466)83-4660